



「自主・実践・友愛」

令和6年10月11日

学校評価特集号

野っ中 だより



学校評価について

1学期に行いました学校評価への回答ありがとうございました。集計結果と成果と課題、今後に向けての取組、学校関係者評価委員会からのご意見を掲載させていただきます。

今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 野々市中学校 学校評価アンケート結果【前期】 (TSP比較)

% = よくあてはまる + あてはまる (または選択肢 1 + 2)

T = 教職員 S = 生徒 P = 保護者 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D

			前期	前期判定	R 5年間	R 4年間	R 3年間
満足	S 1	学校が楽しい。	83%	B	85%	85%	82%
	P 1	おさんは、安心して学校生活を送っている。	95%	A	90%	94%	91%
発信・参加	S 19	学校からのお知らせや各種たよりを確実に保護者に渡している。	74%	C	78%	77%	79%
	P 8	各種たより、ホームページ、PTA行事などから学校の様子がわかる。	91%	A	81%	81%	79%
	P 10	家庭で学校の様子やできごとについて聞いたり、話したりする。	86%	B	80%	83%	82%
授業規律	T 11	チャイムスタート、あいさつ等、授業のルールや「聴く」「姿勢」を定着させている。	97%	A	92%	90%	87%
	S 4	チャイムスタート、あいさつ等、授業のルールを守って、授業に参加している。 ※チャイムスタート、あいさつ等を追加	91%	A	90%	91%	91%
	P 4	おさんは、授業のルールを守って授業に参加している。	92%	A	88%	90%	91%
授業づくり	T 6	授業では、基礎基本の定着を意識した活動を取り入れている。	100%	A			
	T 7	授業では、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう、単元ゴールや1時間の流れを提示し、生徒と共有を図っている。	89%	B			
	T 8	(学び合い学習の前には)個に考えを持たせ、学び合い学習に取り組んでいる。	91%	A	90%	85%	90%
	T 9	授業では、認めることや認め合う活動を取り入れ、全員が認められるよう努力している。	86%	B			
	T 12	わかりやすい授業となる工夫や改善をしている	97%	A	95%	100%	97%
	S 6	道徳の授業で自分の考えを持ち、他の生徒の意見を聞いて考えが深まったことがあった。	83%	B	86%	86%	84%
	P 3	おさんは、「授業がわかりやすい」と思っている。	70%	C	64%	68%	62%
家庭学習	T 13	学年や学級の取組を通して、家庭学習の充実が図られている。	71%	C	46%	43%	71%
	S 8	計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。	51%	D	51%	53%	62%
	S 9	平日1日あたり、家庭学習をどれくらいしていますか。(塾も含む) 1 = 2時間以上 2 = 1時間~2時間未満 3 = 30分~1時間未満 4 = 30分未満	50%	D	53%	54%	70%
	P 5	おさんは、家庭学習の習慣が身についている。	57%	D	55%	59%	63%
自治・育成	T 16	生徒が有用感・達成感を得られるように、行事などの指導を工夫している。	100%	A	90%	93%	97%
	S 2	将来の夢や目標を持っている。	60%	D	61%	64%	64%
	S 3	自分にはよいところがある。	70%	C	69%	70%	68%
	S 13	生徒会活動(委員会や学級会)に関心を持ち、進んで参加している。	64%	D	68%	72%	73%
	P 2	おさんは、生活や学習に目標を持って生活をしている。	76%	C	73%	74%	71%
生活規律	T 18	生徒は、ルールや決まりを守って学校生活を送っている。	85%	B	67%	75%	73%
	S 12	学校のルールや社会のマナーを意識して、過ごしている。	89%	B	92%	94%	91%
	P 6	おさんは、交通ルールやマナーを守って登下校時の安全に心がけている。	97%	A	96%	98%	97%
あいさつ	T 17	生徒は、自分からあいさつや会釈ができる。	50%	D	44%	34%	36%
	S 11	自分からあいさつをしている。	77%	C	79%	81%	78%
	P 7	おさんは、自分からあいさつを心がけて行っている。	73%	C	76%	77%	73%
対応・相談	T 20	不登校の生徒に対する指導が組織的・効果的に行われている。	90%	A	85%	85%	79%
	T 21	生徒理解に努め、生徒や保護者に寄り添った声かけや対応を行っている。	100%	A	98%	100%	94%
	S 14	学校には、悩みを相談する先生や大人がいる。	65%	D	62%	61%	56%
	P 9	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	92%	A	93%	95%	94%

自問・部活	T	19	自問清掃は、生徒の自主性・自発性の育成につながっている。	61%	D	24%	52%	73%
	S	18	部活動（ｽﾎｰｯｸｱｯﾌﾟ等の習い事を含む）に積極的に取り組んでいる。	90%	A	91%	87%	89%
カリキュラムマネジメント	T	22	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活でがまん玉を磨けるよう指導している。	95%	A			
	S	15	自問清掃や学校生活でがまん玉をみがいている。	79%	C			
	T	23	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活でみつけ玉を磨けるよう指導している	81%	B			
	S	16	自問清掃や学校生活でみつけ玉をみがいている。	81%	B			
	T	24	カリキュラム・マネジメントを意識し、自問清掃や学校生活で親切玉を磨けるよう指導している。	84%	B			
S	17	自問清掃や学校生活で親切玉をみがいている。	80%	B				

【○成果と▲課題】（抜粋）

○保護者にとって学校が概ね「安心」な場であると考えられる。

▲生徒にとって学校で「楽しさ」を味わう場面の工夫が必要である。

▲まったくあてはまらないという生徒の数値が0でないことに課題がある。

○totoru の導入により、これまで以上に学校の様子が家庭に伝わるようになった。

▲お便りを見せる習慣がまだまだ身につけていないところに課題がある。

○授業規律に関しては、教員の指導と生徒の努力がしっかりと成果となって出てきている。

○日々の授業研究で「授業がわかりやすい」の項目がわずかではあるが向上している。

▲計画を立てて家庭学習に取り組むことに課題があり、より一層充実したものになるように工夫と指導が必要である。

○生徒が悩み等を相談しやすい雰囲気づくりが進んでいる。

▲一方、生徒にとっては「悩みを相談する大人がいる」の肯定的回答が低いのが課題である。

○自問清掃に対して学校全体としての意識が向上している。

▲自問におけるがまん玉に対して生徒と教員で意識に差があることが課題である。

【後期に向けて】（抜粋）

○生徒がこれまで以上に悩みを話しやすい場面設定をしていく。後期も継続して生徒を認め褒める場面をしっかりと設け、自己肯定感、自己有用感の向上を図る。

○授業改善はもとより、個別最適な個に応じた学習の場をこれまで以上に設けることで、家庭学習の取組も、できる限り個に応じた取組を生徒に指導していく。

○自問清掃の場面はもちろん、本校カリキュラムマネジメントの柱となる3つの玉を磨く場面設定をしていく。また、がまん玉について生徒と教員での捉え方の差をなくしたい。

【学校関係者評価委員会】（学校評議員2名、PTA2名、学校5名）

◇学校評価の数値的には大変良いと思う。先生方と生徒の頑張りが伝わってくる。

◇うまく意見を言えない生徒の意見をこれまで以上に取り入れる工夫をしてほしい。

「学力調査」の分析から見えた課題と改善策

令和6年度の全国学力・学習状況調査及び基礎学力調査の結果が公表されました。それを受け、本校3年生の結果から明らかになった各教科の課題、そして今後の取組について、まとめました。今後の学習の参考にさせていただければと思います。

国語科	課題	・文章と資料を関連させて「読む」問題において、複数の資料を組み合わせて読む力が弱い。 ・記述問題において、無回答が多い。 ・表現技法の「効果」が理解できていない。
	改善策	・目的意識を明確にし、「書く」練習を繰り返す。 ・単に表現技法の名称を覚えるだけでなく、効果まで考える。
社会科	課題	・歴史的分野では「○○の戦い」や「△△の乱」など、争い事に焦点が置かれることが多いが、出来事自体よりも、その出来事によって生じる変化に焦点が置かれるべきであり、その点において、歴史的事象の原因と結果までを含めて理解する力が弱い。
	改善策	・歴史分野はもちろん、公民分野においても、社会で形成された様々なルールやしぐみについて、その形成要因と結果を含めた理解を進めていく。
数学科	課題	・関数の求め方において、数学用語を用いて解答する力が弱い。
	改善策	・数学的思考を文章としてアウトプットする機会を多く設定する。 ・いろんな種類の文章問題に触れる。
理科	課題	・いくつかの単元における基礎基本の定着率が低い。
	改善策	・一問一答の用語問題に限らず、授業での実験や日々の学習内容が、既習事項とつながるように意識する。そのために、実験前に操作方法や既習事項を確認して観察・実験に取り組む。
英語科	課題	・英文を理解した上で、活用する力が弱い。 ・英文を理解した上で、同義表現で言い換えることに慣れていない。
	改善策	・短い英文を読み、概要を伝えたり、Retellingしたりする。 ・表現語彙を増やす。